

平成 29 年度 アppeール会本部役員会議事録

1. 開催日時 平成 29 年 4 月 21 日 (金) 14 時～17 時

2. 開催場所 東洋食品工業短期大学 会議室

3. 出席者

会長	野上 健次
副会長	佐々木 幸治
同	羽場 正信
同	田中 喜徳
同	松原 清俊
会計幹事	斎藤 至康
北海道支部長	豊田 勝己
東北支部長	富樫 健
関東支部長	篠原 龍浩
静岡支部長	石田 雅則
近畿支部長	長塚 洋二郎
中国支部長	竹内 毅
四国支部長	西山 正一
九州支部長	原 裕久
会計監査	本間 欽吾
同	中野 栄介 (16 名)

欠席者

信越支部長	中村 正和
名古屋支部長	岡本 雅志 (2 名)

役員会開催に先立ち

—後藤学長から短大の近況報告について—

3 月卒業した 55 期生の就職希望者 28 名については全員就職をした。

今年度 57 期生の入学者は 37 名で倍率は 1,66 倍であり、在学生数は 76 名となっている。

社会人向け講習会も昨年は予定通り実施した。

外国人向けの短期講習会を 4 回実施、タイの他インドネシアからも参加があり、今年も色々な国から問い合わせがあり多様化を考えていきたい。

今年度は新任教員 3 名の他に非常勤として 1 名の増員を行い、食品製造の現場業務関係の講義に厚みが増してくると考えている。

学びに対する学生の自立を促し、学力のレベルアップと人格形成を目的として学生支援員会を立ち上げた。

定刻 野上会長議長席につき本日役員 2/3 以上の出席でありますので「アピール会会則第 16 条」により役員会は成立した旨告げ、開会を宣言。

4. 議題

第 1 号議案 平成 28 年度収支決算報告の件

齋藤会計幹事より別添資料 1 に基づき報告、併せて本間会計監査より監査報告があり異議なく承認された。

第 2 号議案 平成 28 年度会費納入状況報告の件

齋藤事務局長より別添資料 2 に基づき報告、原案通り承認された。

第 3 号議案 平成 28 年度支部活動報告の件

各支部長より 28 年度の支部活動および 29 年度の活動計画について報告があった。

「北海道支部」

昨年 10 月 15 日に札幌で支部総会を開催 出席者は 5 名で大半が高年齢者で若い人の参加がない。

案内状出すが相変わらず返信が非常に少なく若い人の出席がない状態が数年続いている。

総会の内容は野上会長による講演と学校からは福島学科長の短大の近況報告を受け、本部からは佐々木副会長が出席した。

今年は 9 月か 10 月に根室において総会を行うことは決定しており、日時等の内容について決まり次第本部に相談したい。

「東北支部」

今年度 55 期生の卒業生 1 名が山形県の食品会社に就職した。

昨年 6 月 11 日に岩手県八幡平で支部総会を開催 東北すべての県より会員が出席して総勢 36 名となった。

学校からは朝賀先生が講演の為出席した。

今年度は 5 月 13 日宮城県多賀城にて総会開催を予定している。

今年度支部長が富樫健氏から三枝道晃氏 (T-25 期生) に交代予定。

「関東支部」

昨年 6 月 1 日に幹事会を開催。

7 月 30 日に支部総会を開催 出席者は 18 名。

学校からは後藤学長が短大の近況報告と八木先生が講演の為出席した。

10 月に一泊で山梨県のワイン工場見学を実施し、参加者 8 名が交友を深めた。

今年 1 月に幹事会を開催 会員の出席率を高めるために総会時期を夏季から冬季に変更となり、29 年度の総会を 2 月に鬼怒川で実施した。

総会出席者は 18 名で、そのうち 6 名が初めての出席であり輪を広げたい。

学校からは福島学科長が短大の近況報告の為出席した。

今年度は 6 月に幹事会を予定 総会はなく工場見学を予定している。

「信越支部」・・・野上会長代弁

今年 4 月 8 日に総会開催 出席者は 6 名 学校からは井上先生、本部からは野上会長が講演の為出席した。

「静岡支部」

昨年 3 月に石田新支部長体制での支部総会を開催。

今年は 5 月に学校からは八木先生、他に高倉氏（T-7 期生）の講演を予定している。

過去総会開催の案内は葉書で行っていたが参加者が少ないので、今年は静岡地区は卒業生の多い会社が多数あり、代表者等に直接電話をして出席者の増員を試みている。

「近畿支部」

昨年 12 月 3 日に学校で支部総会を開催 出席者は 21 名 学校からは後藤学長が短大の近況報告と高倉氏（T-7 期生）のコーヒーに関する実演を兼ねたユニークな講演を行った。

会員の人数が多い割には出席者が少ないが、今回は若い女性が 3 名出席 今後期待していきたい。

今年は秋に新設されたキューピー神戸工場見学を兼ねた総会を予定している。

「中国支部」

昨年は支部総会を実施しなかった。

今年は 10 月頃に開催を予定している。

東洋製罐広島工場の組織変更に伴い永年支部の事務局として携わっていたが出来なくなり、今後事務業務を支部内で行う事となった。

「四国支部」

昨年は支部総会を実施しなかった。

今年は6月か7月に開催予定 総会開催の案内は葉書で行っていたが、返信が2割程で効果がなく経費負担増となる為、電話にて出席を促していきたい。

また何時も香川県中心で開催をしていたが、「徳島」でという声もあり新しい試みをしていきたい。

「九州支部」

昨年9月10日に福岡で支部総会を開催 出席者は20名 学校からは講演の為谷松永先生が出席した。

今年は6月頃に幹事会を行い、9月に支部総会を行う予定である。

— 総 括 —

① 支部活動の費用負担の見直し

支部活動の費用負担の一つとして「活動助成金」が会費納入実績に基づいて各支部に支給しているが、昨今の事情も含め会員数の少ない支部では総会等を開催するには厳しい現状である。

その打開策の一つとして、総会開催時の本部役員および会員による講演等に関する費用すべては、本部が負担することを改めて周知したい。

② 支部総会への出席を促すために

2年前から野上会長が数か所の支部総会に出席され仕事上身近に起こりうるテーマを題材に講演され大変好評であったので、今年も機会を設けて他の支部でも講演を行いたい。

また講演者の門戸開放をして会員および取引先等の企業で身近な問題や技術的知識がある方に講演をお願いするのも一案と考えられる。

③ 支部総会開催依頼の手順

各支部が総会を開催するにあたり、支部によって手続きが異なり時折学校の窓口が困惑する事が起こっている。

これを機会に2年前に作成した「支部総会開催依頼書」の内容をよりわかりやすく刷新した書式で「支部」⇒「本部事務局」⇒「学校」という流れで依頼を行い、情報の共有化と窓口の困惑を防ぎたい。

また アppeール会員の住所等の管理については、学校の窓口が一元管理をしているが、卒業後の会員の動向がつかめにくいのが現状である。その為支部総会等で知り得た会員の新しい情報（消息、居住・勤務地の変更等）があれば窓口まで連絡をお願いしたい。

第 4 号議案 平成 29 年度収支予算書(案)の件

齋藤会計幹事より別添資料 3 に基づき報告、原案通り承認された。

第 5 号議案 慶弔費の件

現在「アピール会則」には慶弔費についての記載がないが、先般の短大竹之内前学科長の逝去に伴い、野上会長がアピール会を代表して告別式に参列御榊料を供えた。

これを機会に「慶弔費」について次のように決めた。

① 現役のアピール会本部役員および学校の職員が対象で「弔事費」のみとする。

② 香典は一律 10,000 円とし、弔電は本部が代表して行う。

③ 葬儀へは会場に近い会長または副会長が参列し旅費等を支給する。

また学校の入学式・卒業式への祝電については、支部の経費負担軽減等により本部が代表して祝電をする事として、全員の了承を得た。

第 6 号議案 その他

アピール会設立 60 周年の記念行事について

来年が大学創立 80 周年でアピール会設立 60 周年となるが、現時点では学校が 80 周年記念行事を企画しておられないので、当会としての 60 周年記念行事は考えていない。

学校が行事を行わず当会単独で行事を行う事は、会員へのアピール度等が低く出席者の期待が難しいと考える。

いずれにしても今後学校の動向を見きわめ進めて行く事で、全員の了承を得た。

以上、本日の議案審議全て終了し閉会。

[資料編]

別添資料 1 平成 28 年度 アピール会本部 収支決算報告書

別添資料 2 平成 29 年度 アピール会支部活動助成金 支払明細書

別添資料 3 平成 29 年度 アピール会本部 収支予算書(案)

平成28年度 アップール会本部 収支決算書

[自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日]

収 入		支 出	
摘 要	金額(円)	摘 要	金額(円)
前期繰越金	5,769,624	支部活動助成金(振込料含む)	300,300
第55期生入会金 (@30,000×41名)	1,230,000	本部役員会開催費	640,907
		支部総会出席役員旅費等	180,632
年会費 (@2,000×394口)	788,000	学生会バスツアー援助金	258,140
自動払込 146口		災害援助ボランティア活動関係費	8,483
振替払込 244口		熊本大地震見舞金2名(振込料含む)	102,095
現金 4口		会費振込用紙及び封筒作成費	132,624
		会費納入願書郵送費	86,820
役員懇親会費	66,000	年会費4名返金(振込料含む)	20,153
預金利息	1,178	年会費振込手数料	30,610
郵便局 1,170		振替振込手数料 26,960	
三井住友銀行 8		自動振込手数料 3,650	
		竹之内前学科長死去に伴う香典代等	16,422
		会計・事務処理作業費等	280,660
		ノート型パソコン購入費	96,166
		雑費	1,562
		次期繰越金	5,699,228
合 計	7,854,802	合 計	7,854,802

上記記載事項について相違ないことを認めます

平成29年4月21日

会計監査

本間 欽吾 印

会計監査

中野 栄介 印

資料 2

平成29年度 アップール会支部活動助成金 支払明細書

(平成28年度本部会費納入ベース)

支払日 平成29年4月21日

支部名	会員数	会費入金 口数	入金率 %	支部活動助成金		受領印
				単価(円)	助成額(円)	
北海道	27	9	33	700	6,300	
東北	160	71	44	700	49,700	
関東	229	68	30	700	47,600	
信越	44	9	20	700	6,300	
静岡	126	24	19	700	16,800	
名古屋	86	21	24	700	14,700	
近畿	442	100	23	700	70,000	
中国	76	22	29	700	15,400	
四国	123	24	20	700	16,800	
九州	226	43	19	700	30,100	
計	1,539	391	25	700	273,700	

平成29年4月21日

平成29年度 アップール会本部 収支予算書(案)

[自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日]

収 入		支 出	
摘 要	金 額(円)	摘 要	金 額(円)
前期繰越金	5,699,228	支部活動助成金	300,000
第56期生入会金 (@30,000×37名)	1,110,000	本部役員会開催費	650,000
		支部総会参加役員旅費等	200,000
年会費 (@2,000×400口)	800,000	学生会イベント援助金	300,000
		災害援助ボランティア活動関係費	6,000
役員懇親会費	60,000	封筒・会費振込用紙作成費	100,000
預金利息	1,010	会費納入願書郵送費	100,000
郵便局	1,000		
三井住友銀行	10	年会費振込手数料	28,700
		振替払込料金 25,000	
		自動払込料金 3,700	
		会計・事務処理作業費等	250,000
		予備費	100,000
		雑費	5,000
		次期繰越金	5,630,538
合 計	7,670,238	合 計	7,670,238